



ふれあいネットワーク

やまとおりのやま 第125号

社協だより

令和6年10月15日号

発行 社会福祉法人
大和郡山市社会福祉協議会
大和郡山市植槻町3番8号
TEL (0743) 53-6531
FAX (0743) 55-0986
<https://ykshakyo.or.jp/>



公式Instagram
QRコード



公式LINE
QRコード



公式ホームページ
QRコード

広がる 地域の支え合い!

各地区社会福祉協議会では、地域福祉活動計画の重点施策である「地域の課題解決能力の向上」に向けて、「地区社協 大和郡山モデル」に取り組んでいます。これまで各地区では、地区懇談会を開催して、地域の生活・福祉課題を共有してきました。そこから、解決に向けて新たな住民同士の支え合い活動が生まれています。

令和5年度に懇談会を実施した地区

郡山地区

地区懇談会で出た意見より、役員・部会員・公募の地区住民で『もしもの時に若いも若きも』をテーマにみんなで話し合いと話し合える機会を設けました。その中で、災害時等もしもの時に助け合える地域づくりについての意見交換があり、その結果AED講習会の実施につながりました。



「話し合いしよう」の様子



AED講習会の様子

西田中地区

地区懇談会で将来像についての意見が大きく3つ（「みんなが集まる場があるまち」「子どもが遊べる場があるまち」「移動しやすい（移動手段がある）まち」）出ました。今年度は、地区懇談会で出た意見を地区社協の中で、何か地域でできる事がないか、そしてその実現に向けてどのような取り組みが必要か、話し合いを行っていきます。



地区懇談会の様子



地区懇談会の様子

平和地区

令和4年度に地区懇談会を実施し、多くの意見が出た中から、“防災×まつり・イベント”というテーマに沿って、進めていくことになりました。今年度開催のふれあいまつりでアンケートを実施し、次年度のふれあいまつりでの防災イベントを検討し、モデル事業の準備を進めていく予定です。



平和ふれあいまつり

昭和地区

令和4年度に地区懇談会を実施し、地域課題の1つとして、「日常生活を支える移動手段の確保」が挙げられました。今年度より移動支援事業について協議していきます。また、地域の方が集う場や交流・つながりづくりとして、演芸大会や昭和ふれあいまつりでの金魚すくい大会等を実施しました。



金魚すくい大会

治道地区

令和3年度に地区懇談会で出た意見より、若い世代が参画した地域内外での交流・つながりづくりとして実行委員メンバーの尽力と地域の協力により、4月21日に『ポツンとフェス治道』を開催することができました。多くの方が来場し、治道の魅力について知ってもらう機会となりました。



ポツンとフェス治道

片桐地区

令和3年度に地区懇談会を実施し、移動支援に関する意見が多かったことから、移動支援事業の検討をすすめていきます。毎年9月には片桐ふれあい祭を実施し、今年は、「片桐氏発祥の地」長野県上伊那郡中川村との交流により、祭当日に特産物の販売をしていただきました。



片桐ふれあい祭

モデル事業によって地域の支え合い活動を取り組まれた地区

筒井地区



移動支援事業として青葉台ルートで「はつらつじゃんけい号」の運行をしています。

矢田地区



移動支援事業として城ヶ丘、北矢田・横山、矢田山ルートで「矢田おでかけGO」の運行をしています。

大和郡山市災害ボランティアセンター

令和6年7月7日(日)

設置運営訓練を行いました



災害ボランティアセンターとは、地震や風水害等の災害発生後、被災者支援活動を行うにあたりボランティアの被災地での受け入れが可能となった際に被災地への派遣、調整、情報収集など活動調整等を行う場所を指します。

今回の訓練では、市関係職員、県内市町村社協、市社協役員、市ボランティア連絡協議会の皆さんに参加の呼びかけを行い、55名の参加がありました。実際、被災した場合、大和郡山市で設置する際にどのような形でセンターを運営するのか、いざ起こった時を想定して訓練を行いました。ご協力いただいた方々ありがとうございました。

参加者の声

- QRコードを自分のスマホで読み込んで、当日ボランティア受付ができる事が便利だと思った。
- 自分のスマホで入力するため、場所が混み合わなかった。
- 実物の資機材を使用されてたのが良かった。
- 炎天下ではあったが災害はいつ起こるか分からない為、災害の天候への危機感を再認識した。
- ボランティアセンターの役割がわかってよかった。 など



羽咋市

令和6年

能登半島地震の

災害派遣報告

七尾市

派遣地域：羽咋市

期間：2月1日～7日

総務課 山本 将綱

現地では被災者から寄せられるニーズの管理をメインに、現地調査やボランティア活動にも参加しました。災害ボランティアセンターの運営に関わり、最初に驚いたのが、地元社協と住民の方とのつながりの強さでした。たとえば、ボランティア活動のない日でも、ボランティアセンターの様子を見に来てくださる地元ボランティアの方や、自らも被災しておられるのに、地域の方々のニーズを毎日のように相談に



羽咋市の現地調査

こられる自治会長さん、現地調査に伺った際に、心をゆるし、相談をされている住民の方をみて、改めて「人と人のつながり」や「縁」を大切にしたいと感じ、「社協」としての日常業務の大切さを実感しました。

派遣地域：七尾市

期間：6月8日～14日

福祉課 沢田 拓也

現地では、住民の方から寄せられたニーズとボランティアの方をマッチングし、活動場所への送り出しを行いました。私が行った頃は発災から半年が経過していましたが、まだ解決していないニーズが400件以上も残っているような状況でした。特に印象に残っていることは、気仙沼からボランティアに来られている方が、「東日本大震災に助けてもらった分、今度は自分が恩返しする番です。」とおっしゃっていたことです。その言葉を聞き、災害時における全国からの支援体制・ネットワークづくりや平時からの助け合い活動が大切だと感じました。



七尾市でのボランティア活動

大和郡山市社会福祉協議会主催 すくすくキッズひろば事業

ドレミひろば 音楽教室

のご紹介

みんなでワイワイ楽しく楽器をならして遊びましょう！



日時 毎月第3土曜日 午後1時30分～3時00分

場所 社会福社会館 3階大研修室

参加費 無料

対象 身体障害者手帳または療育手帳をお持ちのお子さん
※療育手帳をお持ちでない発達に心配のあるお子さんも参加できます
※必ず付き添いの方と来て下さい。



善意銀行へのご寄付

ありがとうございました

(令和6年2月～令和6年7月末まで)

※希望者のみ掲載(敬称略)

無指定寄付

- ◆ 平和地区民生児童委員協議会
..... 21,371円
- ◆ 郡山北地区民生児童委員協議会
..... 30,150円
- ◆ ユニー(株)
“小さな善意で大きな愛の輪”運動
アピタ大和郡山店 店長 森本 大介
..... 329,524円

赤い羽根共同募金に

ご協力をお願いいたします

10月1日から赤い羽根共同募金が
始まりました。集まった寄付金は主に
地区社協が実施する地域の子育て支援
や高齢者の支援に使われ、また一部は
全国での災害支援や地域の見守り支援
を行う方をサポートする資金として使
われます。

詳しくは、[赤い羽根共同募金](#) [検索](#)



↑赤い羽根共同募金ホームページQRコード

問い合わせ

社会福祉
法人

〒639-1005 大和郡山市植槻町3番8号
大和郡山市社会福祉協議会
社会福社会館(福祉課) TEL 53-6531
(成年後見支援センター) FAX 55-0986

- 総務課 TEL 53-6533
- 発達支援センター「めばえ」 TEL 53-6534
- 老人福祉センター(ゆたんぼ) TEL 53-0122
- ボランティアビューロー TEL 55-7333